スマホ・タブレット用デイジー再生アプリ「ボイス オブ デイジー」

有限会社サイパック 取締役社長 工藤智行

■ ボイス オブ デイジー

ボイス オブ デイジーはスマホ・タブレット向けに開発したデイジー再生アプリです。最新版はAppleのiPhone, iPod touch, iPadのiOS 5.0以降のデバイスで動作します。

アプリはオンラインのApp Storeより購入できます。主たる機能は次の通りです。

・DAISY 2.02対応

・目次一覧・ページ一覧からの再生

・しおり機能

・再生速度・ピッチ・間のカスタマイズ

・表示色のカスタマイズ

・ピンチイン・ピンチアウト

・タッチした場所へのジャンプ

・VoiceOver対応(VoiceOverはiOSデバイス標準装備のスクリーンリーダー)

・USBケーブルによるデータ転送

また、アメリカのLearning Ally(旧RFB&D)向けにOEM版(Learning Ally Audio)も出荷しています。こちらは、オンラインのライブラリからデータをダウンロードする機能、先生が生徒の読書の進捗具合をチェックする機能(Teacher Ally)を実現しています。

◆ これまでの進化

2009年12月に世界で初のiPhone, iPod touch用のデイジー再生アプリをリリースしました。その後、2010年にiPadに対応したバージョン2.0、2012年にバージョン2.1をリリースしました。さらに日本国内のデイジー教科書に対応するために2013年10月にバージョン3.0をリリースしました。バージョン3.0では次の機能を実現しました。

・縦書き・ルビ対応

・ハイライト位置のコントロール

・細かな色設定

・DAISY 3.0のMathML対応

◆ ボイス オブ デイジー4.0

2014年2月にリリースした、ボイス オブ デイジーの4.0では以下の機能をサポートしています。

・オープンイン機能

・ナビゲーション機能の大幅見直し

・音声の再生精度の向上

・単語単位でのハイライトへの対応

・XMLのエンコーディング名の強化

・マルチタスク

・フレーズ単位の移動

・イヤホンのボタンによる再生コントロール

・シャッフルやイヤホンの引き抜きによる再生停止

今回、オープンイン機能を実現したことで、SafariやDropBoxでダウンロードしたデイジーのデータを取り込むことができるようになりました。従来iTunesというPC/Macで動作するソフトを使い、デイジーのデータをiOSデバイスに転送しなければなりませんでしたが、これが不要になりました。

■ Android版ボイス オブ デイジー

昨年のCSUNに出席し、次のような観点よりAndroid版のボイス オブ デイジーを開発する時期が到来したことを認識しました。

・TalkBackが実用的なレベルに進化した

・Android 4.1以降TalkBackが標準装備

・CSUNではAndroidのアクセシビリティ関連の発表が多く注目されている

・iPhone, iPadが途上国では高額であり手がでないため利用しにくい

・欧米ではAndoridのデバイスのシェアがiOSデバイスを超えている

すぐにAndroid版の開発に着手し、約5ヶ月後の昨年8月にLearning Ally向けのAndroid版ボイス オブ デイジーをリリースしました。その後、縦書き・ルビ対応等の日本国内向けの機能の開発を続けています。まもなく日本国内向けの製品をリリースできる見込みです。

■ 今後の課題

今後のボイス オブ デイジーの開発課題は次の通りです。

* 音声合成システム(TTS)によるテキストDAISYの読み上げサポート
* ユーザ作成本棚機能
* 検索機能

・DAISY 3.0、EPUB3/DAISY 4対応